

平成 28 年度 総務・企画委員会 行動計画

1. 福祉系大学をとりまく厳しい環境をふまえ、関係大学が連携して課題に取り組むために、引き続き本協議会の趣旨に賛同いただける会員校の拡大に取り組む。
2. 高校生の「福祉」離れや福祉人材確保の深刻な状況を改善するためにも、社会福祉士を始めとする福祉職の地位向上に関わる問題や福祉人材養成課題等について、福祉・教育・労働分野を中心とした関係団体・省庁等と積極的に意見交換を行う。あわせて、関係諸団体と連携して社会的にインパクトを持つ取り組みについて検討をすすめる。
3. これからの福祉を担う意欲のある受験生の獲得のためにも「社会福祉を学ぶ魅力」や「社会福祉の仕事の魅力」等について具体的にアピールできるコンテンツの開発に取り組む PJ を新たに立上げる。開発にあたっては、会員校の学生募集活動にも活用できるものとなるよう、教員・職員が一致して取り組む。
4. 復興支援委員会で実施してきた「ソーシャルワーカー声 PJ」の事業終了を受けて、大規模災害時における福祉専門職の役割や大規模災害時に福祉系大学が地域において果たす役割等に関する次の PJ の具体化に向けて、熊本地震における熊本学園大学の経験に学び、検討をすすめる。
5. 協賛する「ソーシャルワーカーデー中央集会」を中心に、各地域や各大学においてもソーシャルワーカーの認知度及び地位向上の取り組みについて、連携を強める。
6. 総会での勉強会や意見交換会、「就職・学生募集委員会」「研究活動・教育向上委員会」での勉強会や事務局勉強会等で寄せられた会員校からの要望を生かして、運営をすすめるとともに、各活動について HP での発信を強化する。

平成 28 年度 研究活動・教育向上委員会 行動計画

◆社会福祉専門職養成をめぐる動向を踏まえながら、養成課程のあり方や国家試験のあり方に関する関係方面への意見提出、社会福祉専門職養成教育の充実、認定社会福祉士制度への対応等に取り組む。

平成 28 年度 就職・学生募集委員会 行動計画

学生募集・就職支援事業の推進

隔年で募集と就職をテーマに研修会を開催しているが、今年度は学生募集担当者向けの講演会および情報共有、意見交換会を開催する。

社会福祉分野の志願者動向の最新情報を基に、今後の募集戦略、入学者確保の方策について各大学間で意見交換する。福祉領域における高大連携の可能性についても考察する機会としたい。

時期は 11 月頃を予定し、各大学には事前アンケートの実施を計画している。

平成 28 年度 復興支援委員会 行動計画

1. ソーシャルワーカーの“声”プロジェクト報告会

ソーシャルワーカーが災害時に「何ができるのか」、「何をなすべきなのか」などを、実際に災害支援活動に従事しているソーシャルワーカーから学生が聴き取り、記録として残す「ソーシャルワーカーの“声”プロジェクト」は昨年 9 月の第 8 次派遣で終了した。「ソーシャルワーカーの“声”プロジェクト」の総括として福祉系大学経営者協議会総会（平成 29 年 1 月）にて報告会を実施する。

2. 学生“語り部”プロジェクト

過去 8 回派遣した「ソーシャルワーカーの“声”プロジェクト」で得た情報を、教員指導の下、参加学生が分析し、「災害支援におけるソーシャルワーカーの機能、役割」、「ソーシャルワーカーへの後方支援策」、「要援護者の現状とニーズ」などについて、広く社会に発信する。所属する大学の状況にあわせ情報を発信する。

3. ソーシャルワーカーの“声”プロジェクトの総括資料

ソーシャルワーカーの“声”プロジェクトの総括資料として書籍を出版する。

書籍名：「災害ソーシャルワークの可能性を求めて

—専門職の“卵”たちから見た、災害とソーシャルワーカー—（仮）

作成予定冊数：4,000 部

出版予定時期：平成 29 年 1 月下旬

1 冊単価：2,200 円

出版社：中央法規出版

監修：福祉系大学経営者協議会

編著者：中島修（文京学院大学）、遠藤洋二（関西福祉科学大学）、家高将明（関西福祉科学大学）

購入案：購入部数 1,000 部

福祉系大学経営者協議会 100 部

（インタビュー協力者、東北 3 県社会福祉士会、加盟校代表者へ配付用）

4. その他

委員会の開催、委員長・副委員長打ち合わせ会、書籍出版打ち合わせ会等